

令和6年6月14日 定例教育委員会 会議録			
1 開催日時及び場所			
・令和6年6月14日(金) 10時30分～11時15分			
・1703会議室			
2 出席者			
教育長	堀 貴 雄	事務局職員	
委員	竹 中 裕 紀	教育次長	中 川 敬 三
委員	村 上 啓 雄	義務教育総括監	青 木 孝 憲
委員	市 川 祥 子(Web)	総合教育センター長兼 教育研修課長	丸 山 早 苗
委員	吉 田 香央里	教育総務課長	野 中 正 史
		教育総務課教育主管	秋 場 毅
		義務教育課長	山 田 高 秀
		高校教育課長	棚 橋 武 司
		高校教育課教育主管	有 尾 隆 宏
		特別支援教育課長	服 部 秀 明
		教育管理課長	嶋 崎 敏 幸
		教育財務課長	田 中 由美子
		教育財務課教育施設整備監	鈴 木 雅 司
3 議事日程等			
報第2号、報第3号、報第4号、議第1号、議第2号、議第3号について、非公開とすることを決定			
4 会議録			
令和6年5月23日開催の定例教育委員会の会議録を承認			
5 審議の概要			
別添のとおり			

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容
報第1号 教育に関する事務に係る予算（令和6年度6月補正）に対する意見について	
教育総務課長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、6月18日に開会する令和6年第3回県議会定例会に提出する議案について、岐阜県知事から意見を求められた。概要について確認したところ、教育委員会事務局からの要求に基づいた内容で編成されていたため、異議ない旨を6月5日に専決し、回答したので報告するとともに、その承認を諮るものである。</p> <p>教育委員会関係の補正歳出予算は、県立学校におけるDXの推進として、総額で6,600万円を増額するものである。</p> <p>補正予算の具体的な内容として、1つ目は、「デジタル人材育成の推進」に係る補正である。高校段階におけるデジタル人材の育成を推進するため、ICTを活用した探究的な学びを強化する県立学校5校において、必要となる高度なICT機器の整備を行うものである。</p> <p>2つ目は、「遠隔授業を活用した学びの環境整備」に係る補正である。生徒の多様な学びの選択肢を確保するため、遠隔授業の本格実施に向けて、県立学校4校と総合教育センターに、機器等の整備を行うとともに、実証研究を行うものである。</p>
村上委員	必要となる高度なICT機器とは、具体的にどのようなものか。
高校教育課長	具体的な整備の内容としては、高性能PC、動画コンテンツ作成機器、3Dプリンタなどを想定している。学校によっては、人の関節に印を付けて動作を確認できるモーションキャプチャーという装置を検討している。
村上委員	AI関係のものではないということか。
高校教育課長	AIに関係するものも含まれるかもしれないが、基本的には、高性能PC、動画コンテンツ作成機器、3Dプリンタのような機器の整備を考えている。
竹中委員	整備されるのは、理系の学校が主体か。
高校教育課長	今回のDX推進事業は文理横断を視野に入れている。具体的には、岐阜高校、大垣北高校、関高校、多治見北高校、斐太高校の5校が「デジタル人材育成の推進」の指定校である。岐阜高校、多治見北高校においては、県の理数教育フラッグシップハイスクールであり、その点では理系ともいえるが、一方、大垣北高校、関高校、斐太高校においては、県フラッグシップハイスクールであり、文理横断的な視点で事業を展開していきたいと考えている。
竹中委員	文系でもDXの推進のような専門的な部分を強化していくことはとても有意義である。
教育長	この事業は国の予算10割で行うものである。文部科学省としては、今年度の大きな柱であり、全国各都道府県で何校かずつ指定されて行う予定である。
市川委員	<p>今後、新たにDXを推進する学校をどのように増やしていくのか。また、学校サイドからの要望はどのように受け取るのか。</p> <p>さらに、モーションキャプチャーや3Dプリンタなどの機器をどのような授業でどのような形で使うのか。無駄なく使うために、使い方や活かし方について計画はあるのか。</p>

<p>高校教育課 教育長</p>	<p>DXハイスクール関連の事業は今年度から始まったものであり、走りながら事業を進めている。</p> <p>岐阜高校、多治見北高校においては、理数教育フラッグシップハイスクールであり、大垣北高校、関高校、斐太高校においては、県フラッグシップハイスクールである。これらの学校に、それぞれの地区を牽引する立場の学校として関わっていただくことにより、これらの学校を拠点として、それぞれの地区の学校にDXの推進を展開していきたいと考えている。</p> <p>また、指定を受けた学校においては「ふるさと教育」等で培ってきたものがある。それぞれの学校の特色を生かし、学校の要望に十分に寄り添いながら事業を展開していきたいと考えている。</p>
<p>教育長</p>	<p>補足として申し上げます。これは5年度の補正予算でついたものであり当初予算ではないため、十分な準備ができないまま、文部科学省から岐阜県に9校指定があった。そのような状況の中で、指定する学校を検討し、「デジタル人材育成の推進」として、岐阜高校、大垣北高校、関高校、多治見北高校、斐太高校の5校と、遠隔授業を行う4校を合わせた9校を決定した。これらの中には専門科の高校はないが、専門科の高校は、数年前にDXの名の下で、文部科学省の事業として、県全体で十数億のお金を国からいただいて、備品等を整備したという経緯がある。そのため、今回は普通科の高校を中心に指定した。恵那高校においては、スーパーサイエンスハイスクールの取組をしていただく。これらのことから、地域をリードしていく岐阜高校、大垣北高校、関高校、多治見北高校、斐太高校に本事業を置かせていただいた。</p> <p>事業を進めながら機器の使い方等を検討しているため、具体的な使い方までは説明できないが、各校あたり1,000万円ずつの予算を有意義に使っていききたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>報第1号について、挙手により採決する。</p>
<p>教育長</p>	<p>全員賛成により原案のとおり承認する。</p>
<p>事務局報告（政策） （1）県教育委員会における「働きやすい職場づくり」に向けた取組の実施結果について</p>	
<p>教育管理課 教育長</p>	<p>「働きやすい職場づくり」に向けた取組の実施結果について報告する。</p> <p>この取組は、郡上特別支援学校の講師自死事案のご遺族と県教育委員会が和解において約束した取組の1つとして、全ての県立学校で令和元年度から毎年5月に実施している。</p> <p>1つ目は、「県立学校における職場研修及び意見交換等の実施」である。</p> <p>（1）「職場研修の実施」では、校長などが講師となつて、再発防止として提言のあった「コンプライアンス意識の向上」や「働き方改革プランの確実な実行」などの研修を実施した。また、新たな取組として、学校現場で起こり得る身近な事例を通じてハラスメントに関する基礎知識を習得する動画を作成し、動画研修を実施した。</p> <p>（2）「意見交換」については、（1）の職場研修を踏まえつつ、年代や教科、教員・事務等の枠を超えて実施した。この意見交換で挙げられた意見は、資料に記載のとおりである。</p> <p>次に、「2 県教育委員会における啓発等」について説明する。</p> <p>（1）では、職場の悩みを相談する先がいくつもあることが一目で分かるよう、チラシにより周知し、（2）では、ハラスメント等を受けた際の県教育委員会内の相談窓口や弁護士による外部の相談窓口について改めて周知を図った。</p> <p>（4）ストレス測定機器の活用や（5）疲労蓄積度のセルフチェックの実施により、疲労やストレス状況を自身で気付ける機会をつくる取組を実施した。</p> <p>（6）及び（7）は、メールマガジンの配信等を通じた啓発・PR活動である。</p>

	<p>「3 職場訪問」について、学校訪問では、事務局職員が働き方改革プランの効果等について学校の教職員等から聞き取りを行った。聞き取り結果や課題等については、資料に記載のとおりである。</p> <p>最後に「4 市町村教育委員会への働きかけ」は、県教育委員会の取組を市町村教育委員会にも紹介し、働きかけをした。</p>
村上委員	<p>セルフケア、ラインケアをしっかりとやるということで、確実に研修していただいている。ストレス測定機器を用いたストレス状況の把握や、疲労度、疲労蓄積度自己診断チェックはできるようになっているが、健康診断時の一般的なストレスチェックはやっているのか。</p>
教育管理課長	<p>ストレスチェックについては法的にも義務付けられているものであるので、7月ごろに実施している。</p>
村上委員	<p>ストレスチェックの結果を見て、自分から面談に行く人はどこの組織でも少ない。できるだけ相談しやすいような体制にさせていただき、落ち込んでいる人をチアアップしていただきたい。また、面談した人数について、毎年記録を取っておくことも必要だと思う。</p>
竹中委員	<p>毎年5月にきちんと取り組まれており、大変よい。教育委員会内部と弁護士による外部の相談窓口があるが、1年間で何件くらいの相談があるのか。</p>
教育管理課長	<p>外部の相談窓口には、毎年10件程度の相談がある。教育管理課には、30件程度の相談がある。</p>
竹中委員	<p>教育委員会にも30件程度相談があるとのことで、活発に活用していただいていると感じる。解決まで、しっかりフォローしていただきたい。</p>
教育管理課長	<p>(相談件数は)ハラスメントや時間外勤務が多いというような過労に関するものに加えて、一般的な人間関係の悩みも含めた数であることを補足する。</p>
竹中委員	<p>学校現場で起きていることが県教育委員会で把握されており、それに対して個別に指導する関係ができていけばうまくいくのではないかと思う。相談がどんどん上がってくることは大変結構なことだ。</p>
<p>事務局報告（政策） （2）加茂高等学校第1棟建築工事の請負契約について</p>	
教育財務課長	<p>「加茂高等学校第1棟建築工事の請負契約」について報告する。</p> <p>まず、加茂高等学校第1棟改築事業の概要について説明する。</p> <p>県立学校84校においては、生徒急増期であった昭和50年代までに建築された校舎が大半であり、建物の老朽化が進んでいる。特に、昭和30年代に建築された加茂高等学校の第1棟は、建築後59年経過して老朽化が著しく、生徒の安全面からみても改築工事を進めていく必要があることから、令和3年度から4年度にかけて実施した設計に基づき、このたび校舎の改築工事に着手したいと考えている。</p> <p>次に、工事請負契約の概要について説明する。</p> <p>令和6年3月28日に県で定める方式による一般競争入札を行った結果、税込み14億8,500万円で、岐建・栗山・ワタケン特定建設工事共同企業体が落札した。</p> <p>工事場所は、現在の学校敷地内での建て替えとなる。</p> <p>工事概要は、鉄筋コンクリート造3階建、延べ面積3,851.22㎡の校舎と、鉄骨造平屋建の昇降口等の建築工事となっている。</p>

竹中委員	築65年以上経っている校舎は使わないという方針を以前に聞いているので、当然やらなければならない工事だと思うが、建築資材が高騰している中で、当初、組んでいた予算から1.5～2倍になっていると思うが、全体の予算が狂って工事に遅れが出るということはないか。
教育財務課長	長寿命化計画に基づいた校舎の整備ということになる。基本的に計画通りにやっていきたいと思っているが、中には整備目的を考えて、先にこちらの学校をやった方がよいか、その都度変更することもある。計画に基づいた通りに進められていない部分もあるが、当課としては、できる限り、安全・安心を第一に整備を進めて参りたいと考えている。
竹名委員	予算が増えたとしても、安全・安心を優先して、どんどん提案していただきたい。
事務局報告（その他） (1) 令和6年度教育委員行事予定について	
教育総務課長	7、8月の「教員採用選考試験」に関して、7月2日は村上委員、7月20日は吉田委員、8月20日は竹中委員にご出席をお願いしており、すでに依頼文書を送付させていただいている。 10月以降の予定については、10月27日の益田清風高校、11月1日の高山工業高校、11月8日の飛騨高山高校については、打江委員にご出席をお願いする予定になっている。11月23日の県立岐阜商業高校には、村上委員にご出席をお願いする予定になっている。こちらについては、行事が近くなったら文書で依頼させていただく。
報第2号 職員の表彰について	
職員の表彰について諮り、承認された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
報第3号 職員の表彰について	
職員の表彰について諮り、承認された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
報第4号 教育委員会事務局職員の人事異動について	
教育委員会事務局職員の人事異動について諮り、承認された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
議第1号 岐阜県教育功労者の表彰について	
岐阜県教育功労者の表彰について諮り、可決された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
議第2号 岐阜県教育委員会職員永年勤続表彰について	
岐阜県教育委員会職員永年勤続表彰について諮り、可決された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	

議第3号 特別支援学校における学校運営について	
特別支援学校における学校運営について諮り、可決された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
その他	
村上委員	子宮頸がんのワクチンのキャッチアップ接種が今年度で終了する。結構高額な予防接種なので、自費で接種すると数万円かかる。養護教諭にも働きかけてはいるが、学校の中で強く勧められないということも聞いている。3回の接種を終えるのに半年かかるので、8月末には1回目を打たないと今年度中に完了しない。毎年、何千人の方が子宮頸がんで亡くなるような時代である。どうしても納得できない方は打つ必要はないと思うが、正しく理解して、27歳までの方には打っていただきたい。副反応については、日本の10年間の研究で、ワクチン接種と多彩な症状との関連性はなしということが国際的にも認められている。ぜひ接種するような流れを教育委員会にもお手伝いいただけるとありがたい。
閉会	
11時15分、閉会を宣言する。	